

# 閉鎖循環式陸上養殖研究棟

県では、近年、目まぐるしく変化する海洋環境に対応していくため、サケ類等の効率的で安定的な養殖技術を開発し、県内事業者へ技術普及することを目的に、閉鎖循環式陸上養殖研究棟を建設し、令和6年度より運用を開始しました。

▼ 竣工式の様子



▲ 研究棟の外観

## ～閉鎖循環式陸上養殖とは～



▲ 閉鎖循環式陸上養殖システム

「閉鎖循環式陸上養殖」とは、従来の海面養殖やかけ流し式養殖と異なり、陸上の施設で、飼育水をろ過システムを用いて浄化しながら再利用し、養殖を行うものです。陸上養殖は自然環境や立地、魚種の制約を受けにくく、飼育環境の管理により生産性の向上や作業量の軽減が見込め、また、排水が極めて少ないため環境負荷が小さいことから、サステナブル（持続可能）な養殖として、近年、注目が集まっています。

“環境と調和した持続可能で活力ある水産業の確立”を目指して

**水産業の振興に関する基本的な計画（第Ⅲ期）**に基づく施策を展開しています。

※計画期間：令和3年度～令和12年度

## ▶ 水産業の振興に関する基本的な計画とは

「水産業の振興に関する基本的な計画」は、本県水産業の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る目的で策定したものです。

令和3年度を始期とした第Ⅲ期計画は、東日本大震災からの復旧・復興の完結を目的とした第Ⅱ期計画の進捗を踏まえ、新たに取り組むべき課題や近年の本県水産業を巡る情勢変化に対応できる本県水産業の総合計画です。

より詳しい計画の内容は宮城県水産林政部水産業振興課のホームページに掲載しています。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

14 海の豊かさを  
守ろう



## ■パンフレットの内容等に関する問い合わせは

| 機 関 名                  |           | 住 所                 | 電話番号         |
|------------------------|-----------|---------------------|--------------|
| 宮城県水産林政部水産業振興課         | 〒980-8570 | 仙台市青葉区本町三丁目8-1      | 022-211-2935 |
| 宮城県水産林政部水産業基盤整備課       | 〒980-8570 | 仙台市青葉区本町三丁目8-1      | 022-211-2943 |
| 宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部      | 〒985-0001 | 塩竈市新浜町一丁目9-1        | 022-365-0192 |
| 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部      | 〒986-0850 | 石巻市あゆみ野五丁目7番地       | 0225-95-7914 |
| 宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部     | 〒988-0181 | 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6       | 0226-22-6852 |
| 宮城県水産技術総合センター          | 〒986-2135 | 石巻市渡波字袖ノ浜97-6       | 0225-24-0159 |
| 宮城県水産技術総合センター水産加工公開実験棟 | 〒986-0022 | 石巻市魚町二丁目2-3         | 0225-93-6703 |
| 宮城県水産技術総合センター種苗生産施設    | 〒985-0812 | 宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜字浜屋敷142-1 | 022-349-7121 |
| 宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場  | 〒988-0241 | 気仙沼市波路上岩井崎107       | 0226-41-0652 |

発行：宮城県水産林政部水産業振興課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 TEL 022-211-2935／FAX 022-211-2939

ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suishin/>



この印刷物は、輸送マレージ低減によるCO<sub>2</sub>削減や  
地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した  
新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷し、  
印刷用の紙へリサイクルできます。